



## ALP・LD の検査項目内容変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のことと、お喜び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。  
2020年7月1日より、ALP・LDの測定方法を変更させていただきます。  
何卒、ご理解賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

謹白

### 記

#### ● 受託開始項目名

- ALP（アルカリホスファターゼ） / IFCC 【 検査項目コード 13067 】
- LD（乳酸デヒドロゲナーゼ） / IFCC 【 検査項目コード 13380 】

受託開始日 2020年7月1日（水）受付分より

#### ● 受託中止項目名

- ALP（アルカリホスファターゼ） / JSCC 【 検査項目コード 00483 】
- LD（乳酸デヒドロゲナーゼ） / JSCC 【 検査項目コード 00496 】

受託中止日 2020年6月30日（火）受付分まで

ALP およびLDの測定法について、日本臨床化学会より「2020年4月から現在のJSCC法をIFCC処方方法（改定JSCC法）へ変更する（猶予期間1年）」と発表がありました。  
これに伴い、当センターでは2020年7月1日受付分よりIFCC法（改定JSCC法）への切替をいたします。  
また、検査項目セットで登録していただいている施設様については7/1（水）をもってIFCC法に変更させていただきますので、予めご了承下さいますよう、お願い申し上げます。

当該検査の受託開始に伴い、現行のALP/JSCC法（検査項目コード 00483）とLD/JSCC法（検査項目コード 00496）は2020年6月30日（火）受付分をもちまして検査の受託が中止となります。

裏面に続きます



より正確に！  
より迅速に！  
地域に密着した検査体制

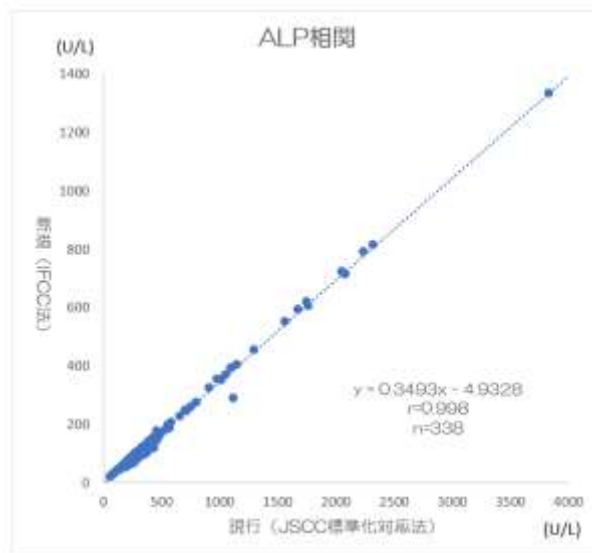
登録衛生検査所  
一般社団法人  
岐阜市医師会臨床検査センター  
電話 058-255-1040

受託要領

	新規受託開始項目	ご参考：現行の内容
検査項目コード	13067	00483
検査項目名	ALP / IFCC	ALP
検体必要量	血清 0.5mL	同左
容器	① → S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	1 ~ 2	同左
検査方法	IFCC法	JSCC標準化対応法
基準値	38~113	105~340 (成人)
単位	U/L	同左
報告範囲	2 以下~上限なし	なし
報告桁数	整数	同左
検査実施料/判断料	11 点/144 点 (生化学的検査 (I))	同左

ご参考：相関図

新規項目と現行項目の相関



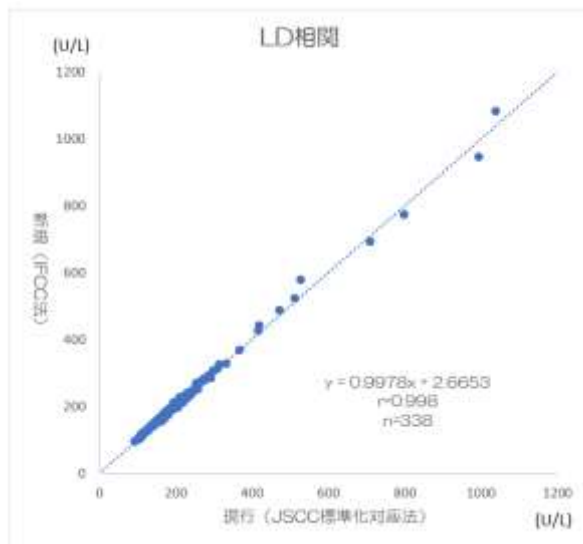
自社検討資料

受託要領

	新規受託開始項目	ご参考：現行の内容
検査項目コード	13380	00496
検査項目名	LD/IFCC	LD
検体必要量	血清 0.5mL	同左
容器	① → S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	1 ~ 2	同左
検査方法	IFCC法	JSCC標準化対応法
基準値	124~222	125~225
単位	U/L	同左
報告範囲	3以下~上限なし	なし
報告桁数	整数	同左
検査実施料/判断料	11点/144点 (生化学的検査(I))	同左

ご参考：相関図

新規項目と現行項目の相関



自社検討資料

## 補足情報

### ALP

ALP/IFCCについて、日本臨床化学会の資料には、次のように記載されています。

- 測定値が(現行のJSCC法に比べて)1/3程度の数値になります。
- ALPについて、「換算係数」は次のとおりです。
  - ・JSCC法測定値からIFCC法測定値に換算：0.35倍
  - ・IFCC法測定値からJSCC法測定値に換算：2.84倍
- 変更前後の値の換算には限界があります。  
IFCC法に変更することで血液型B,O型では小腸型ALPを含む検体で低めになり、逆に妊婦では胎盤性ALPが増加することにより高めに測定されます。

### LD

LD/IFCCについては、日本臨床化学会の資料には、次のように記載されています。

- 変更前後の測定値の差が軽微であり、健常者の測定値は許容誤差範囲内の変化であることから、現状の共用基準範囲を変更する必要はありません。
- 「換算係数」については、「換算せず、そのままの測定値を使ってください。」
- LD5優位検体では現行のJSCC法に対して低めの活性になります。  
(LD5が50%の症例では測定値の差は20%未満)

#### 【参考URL】

一般社団法人 日本臨床化学会 「ALP, LDの測定方法の変更に関するご案内」  
(<http://jscc-jp.gr.jp/>)